

神楽

五ヶ瀬の冬を彩る、各地区の神楽。同じ町内で受け継がれてきた神楽でも、その舞や調子、衣装などにはそれぞれの個性がある。地域ごとに異なる歴史や文化に思いを馳せながら、五ヶ瀬の神楽を見比べてみるのも楽しみのひとつ。



室野宵神楽

室野宵神楽は、明治期に岩戸神楽系統の桑野内神社神楽・古戸野神社神楽から伝わったとされている。酒漉しの舞いは農民夫婦の愉快な舞いとなっている。

●神楽日程：12月第2土曜日



古戸野神楽

地神楽と岩戸神楽を合わせて奉納し祭祀を行っていたが、再興される過程の中、伊勢神楽が混ざり、現在のテンポの遅い神楽のかたちとなっていった。

●神楽日程…1月中旬

ごかせの四季
～冬のみどころ～



▲神楽情報はこちら

鞍岡祇園神楽

鞍岡祇園神楽は、鞍岡の祇園神社に伝承されている神楽で、その古くは延喜式内の古我武礼神社の広庭で舞を舞ったのが始まりとされている。

●神楽日程：7月中旬、10月上旬、11月下旬ごろ



桑野内神楽

桑野内神楽が始まったのは桑野内神社が土生に移転した明治はじめのころとされている。般若面がほかの神楽より多く使用されており、テンポが速いのが特徴。

●神楽日程：1月第2土曜日

